

「第6回大口町地域交通推進会議」議事録

日 時：平成20年6月2日(月)午前9時30分～

場 所：大口町役場 3階 第5委員会室

1. 開会

大森課長	<p>本日は、第6回大口町地域交通推進会議のご案内をいたしましたところ、皆様方には、大変お忙しい中にもかかわらず、ご出席賜り誠にありがとうございます。</p> <p>只今より、会議を始めさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【事務局自己紹介】</p> <p>会議に入らせていただきます前に、ご案内をさせていただきます。委員の任命の関係でございますが、この地域交通推進会議の委員の任期は2年となっております。平成17年7月に委員の任命をさせていただき、平成19年7月21日に任期満了を迎えておりますので、改めて任命させていただくとともに、平成19年7月23日以降の異動により委員をお願いする皆様につきましては、異動の日を以って委員の任命の日とさせていただきます。また、議員の皆様につきましては、議会において委員として選出をされました日を以って委員任命日とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ここで、委員の皆様をご紹介させていただきます。</p> <p>所属、お名前の読み上げをもって、紹介とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【委員紹介】</p> <p>以上18名の方を委員に任命させていただきました。今後とも何かとお世話になりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議における出席委員は、18名中、16名となっており、半数の委員のご出席をいただいておりますので、この会議が有効に成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>この会議につきましては、公開が原則とされておりますので、本日配布の資料及び会議内における質疑応答につきましては、情報公開の対象になるものと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p>
------	--

2. 町長挨拶

酒井町長	あいさつ・・・
------	---------

3. 会長及び職務代理者の選任

大森課長	続きまして、会長選任に移らせていただきます。大口町地域交通推進会議設置条例第4条第1項には「推進会議に会長を置き、委員の互選によってこ
------	---

	<p>れを定める」と規定されておりますが、この件につきまして、ご意見はございませんでしょうか。</p> <p>ご意見もないようでありますので、事務局一任ということによろしいでしょうか。</p> <p>「異議なし」の声あり</p> <p>それでは、会長につきましては豊橋技術科学大学廣島康裕様に、引き続きお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>「異議なし」の声あり</p> <p>廣島様 会長席にお移りください。</p> <p>続きまして、会長職務代理者の指名に移らせていただきます。職務代理者につきましては、大口町地域交通推進会議設置条例第4条第3項に「会長があらかじめ指定した委員が会長の職務を代理する」と規定されておりますので、廣島会長から職務代理者を指名していただきたいと思っております。</p>
廣 島 会 長	職務代理者につきましては、鈴木喜博委員に引き続きお願いいたします。
廣 島 会 長	あいさつ・・・
鈴 木 委 員	あいさつ・・・

4. 議事

大 森 課 長	それでは、議事に入らせていただきます。これ以降、大口町地域交通推進会議設置条例第6条の規程に基づき、廣島会長に議事の進行を行っていただきます。よろしく申し上げます。
廣 島 会 長	それでは議事に従って進めさせていただきたいと思っております。まず(1)にあります「平成19年度大口町コミュニティバス事業報告」ということで、事務局から説明をお願いします。

(1) 平成19年度大口町コミュニティバス事業報告

大 森 課 長	(1) 平成19年度大口町コミュニティバス事業報告について説明
廣 島 会 長	只今ご説明をいただきましたが、何かご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。
土 田 委 員	収入額の県補助金341万3千円、これはどのように決まってきたのかお教えいただきたいと思っております。それからもう一点、利用者目標とか、収入目標額を相当大幅に見込んでいますが、何か根拠、裏づけが今の段階であるのかお聞きしたいと思っております。

大森課長	<p>それでは県補助金につきまして、これは市町村振興費補助金という補助事業でありまして、1千万円を限度に1/2以内を補助するというもので、1千万円を超えておりますので、1千万円を限度として1/2の500万円ということですが、県内の市町村へ補助金を配分する関係で、19年度は、341万3千円という決定をいただき、収入として入っているということです。</p> <p>それから、20年度の利用者目標を10万7,700人ということで設定させていただいております。これにつきましては、企業の利用者を除いて、昨年の一一般の利用者の5%の増加を見込んでおります。これにつきましてはH20年の4月、5月でありますけれど、それぞれ目標人数を十分上回っておりますので、目標としては達成が十分できるのではないかとこのように考えております。</p> <p>4月の目標につきましては、7,850人を目標にしておりますけれど、実績としましては、9,560人ということになっておりますので、10万7,700人の目標の達成については可能かというふうに思っています。</p>
松浦委員	<p>削減額で、3,500万円台まで削減ということで取り組まれることは非常に良いんですが、ただ一点、我々運行事業者としては、実は燃料が大幅にアップしておりまして、非常に反動を受けておりまして、その辺について、お願いをしていくことになるかもしれませんので、お願いということを申し上げておきます。</p>
大森課長	<p>聞いておきますので。</p>
長崎委員	<p>先程会長がおっしゃった乗り残しということが発生することがなかったかどうか、それから、安全面なんですけれども、事故・トラブル、そういうものが発生しなかったかどうか、これが報告にはないので。</p>
大森課長	<p>乗り残しということは具体的に今までにそういう事態は無いんですが、事前に分かっている場合は、連絡を受けて増車をするとかいう対応をこの間、してきたことはあります。ただそういったことを含めて、普段乗り残しがあって、苦情があったということはないです。</p> <p>それから事故等につきましても、こないだですが、車が出てきて急ブレーキを掛けて、事故は防げたんですが、中に乗っていた人が前につんのめって打ち身をされたという話、あるいは自転車と接触事故を起こしたということはこの間ありました。これにつきましては、その都度運行事業者に連絡をしまして、会社全体のこととして、再発防止に努めていただいているというものであります。</p>
水野委員	<p>基本的に、座席の数だけですよ、道交法が変わってシートベルトという問題が出てくるわけですけど、立ってということはありませんということですね。</p>
大森課長	<p>今4台のバスがありまして、その内、小型のバスにつきましては立って乗ることはできませんけれど、1台中型のバスがあります。これは立ち席を含</p>

	めて36人乗りのバスになっていますので、そのバスについては実際に立って乗っていただいていることもあります。
水野委員	それは問題ないんですか。
大森課長	問題はありません。
松浦委員	シートベルトのことですけれど、6月1日から着用になったんですけれど、一応乗り合いバスは、いいということでありませう。
廣畠会長	他はよろしいでしょうか。
廣畠会長	ちょっと確認をしておきたいんですが、目標数値なんですけど、19年度の目標数値が、切りのよくない数字なんですけど、どういうことですか。 通常目標というのは、割と切りのいい数字にするんですけど、これは実績ベースだからですか。
大森課長	そうではなくて、実際に19年度の設定をさせていただいたときに、そのままの数字で目標を設定したということにして、それがやっぱり私どもの目標の設定の仕方としてまずいかなと考えて、20年度については1,900万円という形で挙げさせていただいておりますので、その辺の目標の設定という手法も始めてで、細かい数字になったということです。
前田委員	利用者目標数のですね、26%増ですか、これは。この根拠をですね少し教えていただきたいと思うんですけれど。基本的には、前年度比20%増というのがあるわけなんですけど、25%ではなくて、それ以上に増というような目標を持つとですね、どのような根拠かということなんですけれど。
大森課長	企業の利用者がこの7月から14,740人ほどアップする予定です。さらに、先程申し上げましたように、一般の利用者につきましても今年の2月、3月から増加傾向にあるということで、そういった傾向を見込んで、10万7,700人に設定させていただきまして、特に4月の一般の利用者につきましては、目標が7,850人であるところが、9,560人ということでご利用いただいておりますので、いける数字かなと思っております。
松浦委員	寄附金とか、そういったことで取り組むということ、いろんなところで考えられていて、許せば、例えば、車の外に宣伝をする、外見はちょっとあれですから、問題はあるかもしれないですけど、外に製作所とか、工務店としてPRするのをバスのボディにやってお金をいただくとかですね、そういう手法も。コミュニティバスに貼るのは外観上どうかという問題もあるかもしれませんが、寄附をいただくというのは、そういう応援をしているということが外から見えるということですね。一応普通、われわれがやっている乗合の民間バスは、名鉄バスを始め、ボディに貼っていただけてお金をいただくと、ラッピングと申しますけれど。全面ラッピングはあれですが、一部ラッピングぐらいであれば、2社ぐらいは車のボディに貼ると、お金がいただけるのではないかと思います。 もう一つ思うのは、問題があるかもしれませんが、新しい病院が、厚

	<p>生病院ですか、江南の方に立派な病院ができたんで、そちらの方に行けるような足をですね、これをコミュニティバスの領域では、そこまではやっていなかったんですけど、いろんな絡みがあるんですけど、バス運行が 21 条から 4 条ということになってきたんで、ひょっとして皆さんが病院に運ぶようなことまでも足を伸ばせる可能性も出てきていると思いますけれど。ただ、皆さんが病院へ通う足として、新しい病院へということならば、一番住民の方が望んでおられる路線を考えるというのも一つの方法かなと思います。</p>
井上委員	<p>例えば、扶桑町とか江南の方とか、そういうところから大口町のバス路線で結びたいとか、隣の市、町からそういう要望とか誘いかけとかは、昨年度ありましたでしょうか。</p>
大森課長	<p>まず、松浦さんのお話ですけど、バスがあおい交通のバスということで、車内広告を募集して、一定の収入があったわけですが、42,500 円の収入があったわけですが、その収入をいただくときに、あおいさんとかなりきつい交渉、要するにあおいさんのバスに広告を付けて町の収入にしますよということで、今協定を結んでおりますけれど、何回かきつい交渉をした覚えがあるので、そういうことにもかかわらず、なおかつ協力をいただけるとすれば、ぜひお願いをしていきたいと思います。</p>
松浦委員	<p>車外のラッピングですよ。外は何もやっていないですよ。</p>
大森課長	<p>それをやって、収入として、町の収入でいいということであれば、できると思います。</p>
松浦委員	<p>それは。考えるのは、町のバスでそれをね。</p>
大森課長	<p>あおいさんのバスなんで。それで協定を結べれば、ぜひお願いしたいと思います。</p>
松浦委員	<p>それはいただけるなら。それは。</p>
大森課長	<p>江南厚生病院につきましては、議会側のご質問もいろいろあったわけですけど、なかなか厚生病院まで距離が長いということで、そこまで巡回バスを走らせるということになると、町内でのバスの運行の頻度が低くなってしまいうということもありますので、また後から「2」の方でも話しをさせていただきますが、名鉄バスが布袋と江南から出ていますので、そこになるべく接続できるような巡回バスのダイヤを設定していきたいということを考えております。</p> <p>それから、扶桑町、江南市から隣接のバスとうまく接続できないかという、そういう提案は特にありませんが、扶桑町あたりからは、大口のバスを走らせてくれということはあるんですけど、基本的に大口町のバスが、扶桑町内で停留所を設けるということが非常に難しいかなと。今、扶桑町内の柏森の名鉄の駅ですとか、江南市内の江南駅とか布袋駅だけでありまして、なかなか扶桑町や江南市内に大口町の巡回バスの停留所を設けるのは難しいかなと思っております。</p>

鈴木 委員	<p>私も江南市の布袋町やそれから江南駅のコースですね、あそこの近くに住んでみえる方なんかには、どうして大口町のバスは停留所をつくってくれないのかなと、何人にも言われています。それは難しいでしょうということを行っているんですけど、つくってもらえたら乗る人はすごく多いと思いますと言われるんですね。どちらかという、江南駅、こちらの東よりの方は、特にアピタだとか、やっぱりたくさん来るもんだから、停留所を設けてくださったら助かりますということを言われますよ。何とか江南市さんに要請していただいて、やっていただきたいなと思います。それと先程の病院の件ですけど、老人の方、やっぱり直通であれば、本当に助かるのではないということもよく言われますので、行政の考え方としては、名鉄さんとうまくやってということもあるかもしれませんが、町民にしてみたら、すごく本当に身近で大事なことだと思うんです。直接行けるということは。ぜひ前向きに考えていただけたらなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
大 森 課 長	<p>今回は、先程申し上げた理由で、名鉄バスとの接続を考えておりますけれど、今後いろいろなご意見をいただきながら、そういったことが必要であれば、また検討していきたいと思います。</p>
葉 栗 委 員	<p>今、議会の方から、去年なんか思いますと、議会は一体バスに対してどんなふうな考え方を持っていらっしゃるのか、それでまた江南の方に走らすということに対してですね、町がこうありたいなと思っても、議会の方でどんなふうに理解されるのかって、そこら辺がとっても疑問なんですね。出てくるご意見が、議会のご意見が出てくるということもありますので、この雰囲気というのは、町のバス運行に対する雰囲気はどんなものなんでしょうか。</p>
鈴木 委員	<p>確かに去年あたりは、これに対する議会として、これでいいのかな、というふうには思っておりました。やっぱり議会の中でもいろんな話をしていく中で、変わっていくと思うんですけど、今回病院に関してもそうですし、途中経過の中で、そうやって江南市や布袋町やなんかの方でそうやって乗っていただけの方が増えている。ただ、予算がこれにはついてくるものですから、どこまで予算を使っていくのかということもありますけれど、こうやって拝見させていただくと、少しずつでも行政としては予算をできるだけ節約しながらやっていくというのは、数字で表れていると思いますので、また私も自分の支援者なんかにいろいろ話しをさせていただいていると、本当にこれは続けてやっていただきたいということも多々言われることもございますので、これからは議会の方もある意味、形が少しずつ変わっているところもありますので。</p>
葉 栗 委 員	<p>心もですか。</p>
鈴木 委員	<p>心もありますけれど、少しずつその考え方も違ってくるのではないかと思っておりますので、少しずつ前向きになっていくんだらうと思っておりますが、こんなところで勘弁してください。</p>

葉 栗 委 員	ここに出ていただく方がお二人いらっしゃいますので、ご信頼申し上げておりますので、その点よろしく願いいたします。
廣 畠 会 長	こういう資料を使った報告というのは、議会にされているんですか。
鈴 木 委 員	はい。見せていただいております。
大 森 課 長	4月に委員会協議会と全員協議会に報告させていただいております。
廣 畠 会 長	他にはよろしいでしょうか。それでは、次の議題に移らせていただきますが、また後で、何かあればお願いしたいと思います。

(2) 大口町コミュニティバスの路線新設及びダイヤ改正について

平岡課長補佐	(2) 大口町コミュニティバスの路線新設及びダイヤ改正について説明
廣 畠 会 長	それでは、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。
井 上 委 員	このダイヤ改正の、やっぱり皆さんに使っていただくためには PR が必要だと思うんですけど、どのように PR される計画なのか、7月1日ですと、もう1ヶ月ですけれど。
平岡課長補佐	広報・周知の関係ですけれど、こういう形で今日了解がいただければ、この時刻表をホームページ上にアップしてまいりたいと。そうして現行の時刻表と、7月1日に変わる時刻表にアクセスできるような形でアップしていきたいと思います。それと現行使っていただいている方にどう周知をしていくかということが問題ですので、できれば早めに時刻表のゲラ刷りを車内でお配りをして行きたいと思っております。それから、広報・周知の関係では、新しい時刻表の全戸配布を考えておりますので、そういう中で進めてまいりたいと考えております。
廣 畠 会 長	この辺の時刻のダイヤ改正に、利用者の意見は聞いた上でやっているのでしょうか。それとも。
大 森 課 長	このために特別に意見を聴取しておりませんが、普段からいろいろと入ってくるわけですね、ここを延ばしてほしいとか、例えば、中小口の町営住宅をなんとかしてほしいとか。そういったものをいろいろとお聞きして、こちらから逆に調べたりして、設定をしています。二ツ屋の時間延長なんかにつきましても、そういったような要望の中で考えてきております。
平岡課長補佐	若干補足でございますけれど、私ども、運行委託をしておりますあおい交通さんの方で、乗務員のバス会議というものを月一度開いていただいております。そういう中で、乗務員さんが、生で利用者の声というんですか、この時間帯だと電車アクセスが悪いよね、もう少し停まってけると乗れるのにね、とか、乗務員がお客さん、私どもリピーターのお客さんが割りと多いもんですから、そういう声を聞きながら、バス会議で取りまとめたいただいた内容というのを参考にさせていただいて、そういう中で編成をしたということでございます。
廣 畠 会 長	先程の「1」の議題で出ていた厚生病院行きは、布袋で乗り換えるという

	あれでしたよね。
平岡課長補佐	布袋の駅と江南の駅で乗り換えが可能だということでございます。ですから、南部の周辺の方は布袋駅へ結んでおりますので、そこから名鉄バスに乗っていただく。それから、中心地あたりからは、中部ルートをご利用いただいて、江南駅に出れば、そこから若干移動時間はありますけれど、そういう形の中で乗換が可能です。
畑 委 員	私の方からはお願いなんですが、あおい交通さんの乗務員さんのご意見、また町に入ってくる利用者さんの声を反映した形で今回新しいルートを設けていただき、またダイヤ改正をしていただくと、非常に結構でございます。利用者様の方から喜んでいただけるバスを今後とも継続していただくのは非常に意義がありますので、こうした議論でますます意見を出して合意をしていただければ、私ども運輸局としましてもですね、そういった意見についての運行については速やかに処理したいと考えております。ただ、一点だけですね、どうしても行政手続きという点がございますので、本日この会議で合意をいただいた内容を、早速、交通事業者さんであるあおい交通さんから私ども運輸支局の方へ申請をいただく、そうしますと、私どもも法律に基づいた処理をしないとイケないということで、関係するのは、道路管理者さんですね、こちらの方へバスの通行について支障がないか、これまで定期運行がなかったわけですので、道路管理者さんの方にご意見をいただく。それで、支障がないよというご返事をいただいてから、運輸局の方から通行の許可をさせていただくという手はずでございますけれど。実はこの公共交通会議を経た段階で、簡素化されたといえども、1ヶ月間の猶予はいただきたいんですね。というのは、この1ヶ月の間に、決まったダイヤを正式にPRですとか、やはり一週間前までには皆様方には正式なルート・ダイヤを公表してくださいという、実はこれも法律の方で決まっておりますのでね、そうしたものを踏まえて1ヶ月間だけは最低限いただきたい。ただ、残念なことに本日6月2日、もう1ヶ月の期限を切っておりますのでね、できれば会議を開くなら、もう少し早めに開催していただければと思っています。私どもも申請をいただければ、鋭意努力して7月1日に何とか間に合うように、運輸局の方に連絡をしますし、後、町の関係機関の方へ早めに法律手続きの回答をいただけるように働きかけをお願いしたい。この回答が遅れたばっかりに私どもの処理が遅れてしまうということになると、何ともならない状態になってしまいますので、これをぜひご協力いただきたいと思います。今後の会議においても、こういったことを踏まえていただければ、もう少し早めの開催の方を、なるべく調整を早めに掛けてもらえればと、こちらもお願いたします。
松 浦 委 員	一応、今日参る予定でおりますので、よろしくお願したいと思います。
畑 委 員	あおいさんの方、利用者さんの方からああしてほしい、こうしてほしいと

	<p>いうご要望をまとめていただいていると思うんですけど、逆にどうでしょう。町の方に苦情がなかなかないということでございますけれど、例えば、これは思いつきで申し訳ないんですけど、時間どおり、というか逆に早く行っちゃったという、そういうような苦情といいますか、反省すべき点といいますか、といいますのは、ダイヤをみますと、同じ分単位で細かく、非常に利用者にとって良いと思うんですけど、逆に乗務員さんにとっては焦ってしまってといいますか、同じ時間でもついつい先に進んじゃうといいますか、通行がスムーズなので先に行っちゃったとか、そうすると、お客様から、後から時間より前に行っちゃったよねというような、そういったような、こうしてほしいという意見、要望ではなくて、そういったところで苦情はなかったか。またそういったことに対して会社としてやってはいけないということですので、会社の方の指導はしっかりとやっていらっしゃるか、そういったところをご説明いただければと思うんですけど。</p>
工藤委員	<p>運行に関します状況ですが、むしろ今までのダイヤですと、時間的に余裕がないこともございまして、遅れたりすることがあったんですが、総括でいうと、どの路線でもいえることなんですが、それは絶対にやってはいけないことですので、十分乗務員には早発しないように。必ず運転席には運行カードがありますので、それを確認して発車時間を確かめた上で発車するように指導しておりますので、遅れてしまうことはあっても、早発に関することはないようにしております。</p>
松浦委員	<p>後、会社にしても特に無理な運行は避けたいので、適宜大口町さんの方に要望を出させていただいて、聞いていただける場合もありますし、聞いていただけない場合もありますけれど、協議をしながら進めているという状況です。</p>
長崎委員	<p>遅れることはあるんですか、やっぱり。</p>
工藤委員	<p>それは、10分、15分遅れることはまずないんですが、1~2分の遅れはどうしてもやむを得ないです。</p>
松浦委員	<p>他の地区もやっているんですけど、大口町に関してはそんなに遅れはありません。ただ、41号を走っている豊山町ですとか、地区によっては大幅な遅れがあるんですけど、大口町に関してはそんなにすごい渋滞がありませんので、比較的きちんとした運行が。</p>
森部長	<p>先程、国交省の方から住民の方の意見、さらには苦情等というお話しもありましたし、おかげ様で、運行事業者の方でそういう声を把握していただいて、私どもとコミュニケーションを図って、そういう中でダイヤ改正やバス停の位置についても見直しをかけているわけですけども、先程もありましたように、新たに行政区域を越えてですね、取り組まなければならないような要因が出てきまして、その上にですね、やはり何とか私ども、議会から正式なご質問をいただく中で、今の法的なことですとか、上級官庁の指導です</p>

	<p>ね、そんなようなものがクリアできれば、私どもとしても考えていきたい旨の回答はしてあるわけですが、今、この場で委員からそういうご意見をいただく中ですね、何かご意見、所見があれば、お聞かせいただきたいと思います。</p>
畑 委 員	<p>これまで市町村単位という形で住民の方々のコミュニティバス、これが全国発展してきたわけでございます。やはり、これからは広域化しております。隣の施設等がございますので、そういったところへ町域を越えてやられるという要望も出てございますので、私どもとしましては法的には、町単位で走らせなければならないという制限は全くありませんので、圏域を越えて関係市町村さんで合意を得れば、それに沿った運行ダイヤをつくっていただければ、全く問題ございません。その手続きは、町内のコミュニティバスをつくるのも、町外路線で、隣の町へ行くのも全然支障ございません。ただいかなせん、そういったご相談、どうしても市町村単位で顔を見合わせて話がうまく調整がつかないという、また、どういった形がいいのだろうという、そういったところの方が、お話が進んでいないのかなあという感じで、具体的には、私たちにはご相談はないわけでありましてけれど。最近はそのような形でですね、扶桑町さん、江南市さん、こういった具体的なところが聞き漏れておりますのでね、もし、具体的な話があれば、どうぞ遠慮なくご相談いただければいいですし、逆に私どもに直接くるよりも、県の方に相談された方がいいのかなあ、また相談しやすいケースもあるのかなあと思っておりますので、そこは県さんと一緒に私どもも協調して対処してと思っております。よろしくをお願いします。</p>
森 部 長	<p>ありがとうございます。私ども、具体的に事案を抱えておりますので、県あるいは国交省へご相談に伺いますので、その節は、よろしくお願いいたします。</p>
松 浦 委 員	<p>法的には、去年からですか。今までは、行政区で公共交通会議を開いたんですけれど、今は、A、B、C市で公共交通会議を開くとか、実は、大きな町では、その西部地区だけで公共交通会議を開くとか、公共交通会議が必要とされる地域の大きさをやるふう从去年から変わっておりますので、A、B両町の交通会議を開いていただくような法的手続きになってくるんじゃないかと思うんですけれど。費用の分配とかそういうのが実は行政的なところで、生々しい話で、例えば豊山町が小牧市に入っているんですけれど、豊山町でいくらか負担してくれないかという話を小牧市、豊山町何回か持っていったんですけれど、ちょっと言葉があれですが、「おまえの所が勝手に入ってくるんだから、それはお前のところでやれ」という話で、経費的なところは一切持ってないんですけれど、どうしても小牧市民病院とかにいきたかったんで、豊山町は豊山町の経費でやっておられるんですけれど、すごく有効であれば、分担金を決めるとか、そんなような流れになるんじゃないでしょうかね。</p>

鈴木委員	今の話ですけれど、担当の方からは、よく名鉄バスだとか、そういう兼ね合いがあって、なかなかつくることできないんだけど、ということをよく我々は聞くんですけど、今日、県のバス協会さんもお見えですけど、そんなに難しいことですかね。
長崎委員	例えば路線がだぶっているとかいう場合には、これは支局さんかもしれませんが、これはちょっと同意が取れないということがあるかもしれませんが、今の例えば、仮ですけどここから厚生病院へ行くという場合、今路線は無いんですよ。そういう場合には、別段、どちらに行くことについては公共交通会議で、よく練っていただければいいですので、バス協会としては特にはないですし、バス路線としても、ここから既に名鉄バスがあるという場合には問題ありと、出てくるかもしれません。今のところありませんので。
鈴木委員	ただ、江南駅を通らなければいいということですか。
長崎委員	今、県さんからお話があって、国交省さんも同じことを説明されると思うんですけど、法律上は既存の路線があってですね、既存の路線に利用者がいらっしゃるわけですから、その利用者の足をなくしてしまうような形になる、競合姿勢ですね、クリームスキミングという表現を使っていますけれど、既存路線の存立を危うくするような路線を新たにひくというようなことは認められないんですが、今お話があったように全くルートが違うというところに競合しませんから、これはひくことができます。もう一つ、協議会を開くかどうかということはどうですか、そこの地域、あるいは町域の利用者が現実的に発生してですね、相互に協議しなければならないという場合には、その場を設けるわけですけど、そうでなければ、一方的に行くという場合には、この場合、大口町さんの中での判断でもできるというふうには思います。
廣島会長	今の場合ですと、もし厚生病院にルートをやると、途中で降りることもできるわけですよ。
長崎委員	そこは、クローズドドアですね。ダイレクトで入るというクローズドドアで入れば、直接的な利害が発生しませんし、要するに町民の利用という観点でいえば問題は発生してこないということですね。
大森課長	江南駅とか布袋駅へ大口町から出たところで、一切停まらずに行くという、そういう形での運行であれば、向こうの市町の交通会議は必要ないということによろしいですか。
長崎委員	そういうことになります。
鈴木委員	いろんなことがあると思うので、いろいろと考えていただければと思います。
廣島会長	他はいかがでしょうか。 ご意見がないようでしたら、採決をすることになるわけですね。挙手でこの改正案、路線の新設及びダイヤ改正について賛成の方は、挙手をお願いし

	<p>ます。</p> <p>【全員挙手】</p> <p>賛成多数ということで、この案は可決されたということによりまして、</p> <p>それでは次の議題ですが、(3)その他ということで、事務局お願いします。</p>
大 森 課 長	特にありません。

(3) その他

廣 畠 会 長	<p>では、これをもちまして、今日の議題は終了ですが、何かありましたら、</p> <p>言い足りないことがあれば、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは事務局お願いします。</p>
大 森 課 長	<p>どうもありがとうございました。本日いただいたご意見は今後のコミュニティバスの運行に反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>

閉会